

KUMISETSU

## 部品リスト

全てのパーツが揃っているか、組み立て前にご確認ください。

No.	部品名	数量	No.	部品名	数量
①	天板	1	⑦	六角レンチ大	1
②	脚フレーム (アジャスター付き)	2	⑧	床面保護フェルト (4個は予備)	8
③	脚固定部材	1	⑨	ワッシャー	16
④	六角ボルト小	16	⑩	スプリングワッシャー	16
⑤	六角レンチ小	1	⑪	キャビネット	1
⑥	六角ボルト大	2			

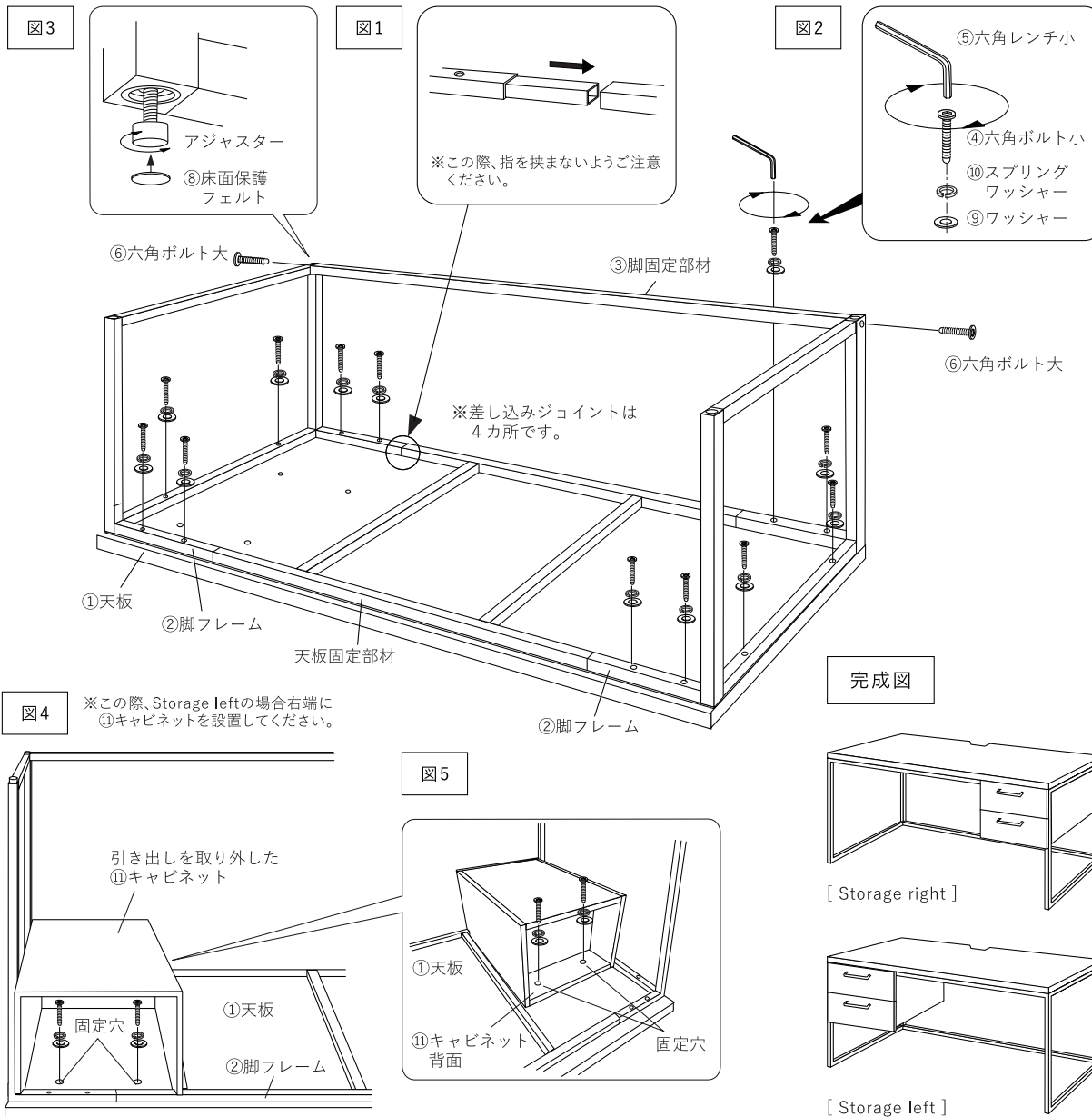
※部品が足りない場合は、巻末に記載の連絡先までご連絡ください。

KUMISETSU

## 手順

後半に記載の「組み立てポイント」と「注意点」もご確認ください。

- ②脚フレームを、天板固定部材の奥まで差し込みます。②脚フレームの細い部分を天板固定部材の奥までしっかりと差し込みジョイントします。(図1)
- ④六角ボルト小と⑨ワッシャー、⑩スプリングワッシャーを使用し、①天板の板裏に②脚フレームを取り付けます。(図2)
- ②脚フレームに⑥六角ボルト大を使用し、③脚固定部材を取り付けます。
- 引き出しを取り外した⑪キャビネットを、①天板に裏返して置きます。キャビネット内部にある固定穴と天板のネジ穴を合わせて、④六角ボルト小と⑨ワッシャー、⑩スプリングワッシャーを使用して取付けます。(図2)(図4)  
※引き出しの取り外し方は、3ページ目の「注意点」をご確認ください。
- ⑪キャビネット背面も、キャビネット背面内部にある固定穴と天板のネジ穴を合わせて、④六角ボルト小と⑨ワッシャー、⑩スプリングワッシャーを使用して取付けます。(図2)(図5)
- 商品を起こしてから⑪キャビネットに引き出しを戻します。ぐらつきがある場合、アジャスターを使って調整して完成です。(図3)  
※引き出しの戻し方は、3ページ目の「注意点」をご確認ください。



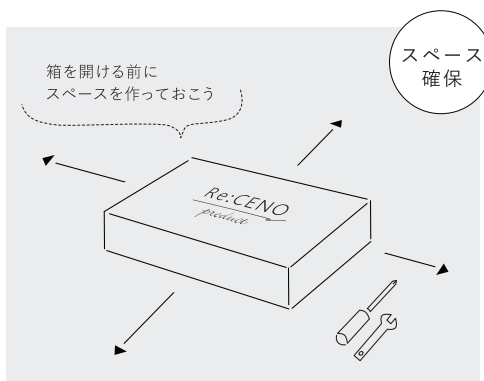


## 組み立てポイント

組み立ての時に大切なポイントをまとめました。

### 組み立ての作業スペースを確保

まずは作業スペースをしっかりと確保しましょう。組み立てるスペースはもちろんですが、組み立て前の部品の確認や、その後の部品をわかりやすく置いておくスペースも考えておきましょう。



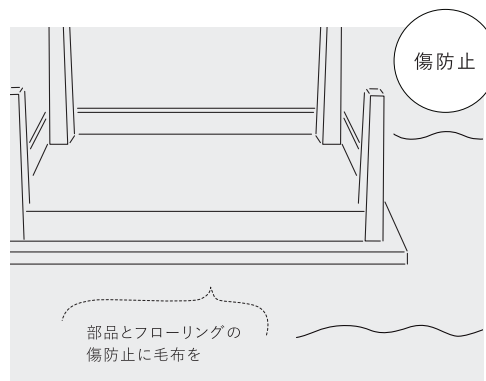
### 部品は揃ってますか？ 最初に確認を

組み立て前の必須ポイントが部品確認。数や部品は揃っているのか？ どの部品が何のための物なのか？ 始めに見ておくと作業もスムーズに。万が一部品が足りなかった場合も組み立て前に連絡ができます。



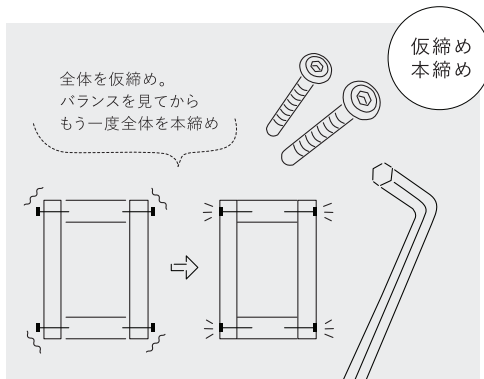
### 傷が付かないよう、床に毛布を

テーブルなどの組み立てをする際、床に直接部品を置くと、床と部品に摩擦が生じて、傷が付くことがあります。大きめの毛布などを用意して、その上で作業することをおすすめします。



### ねじ、ボルト類は仮締めから

組み立てを行うとき、最初から10割の力で締めると、微妙なズレが調節できずに最後に組みあがらないこともあります。始めは7-8割の力で仮締めを行い、全体の形ができてから本締めを行うようにしましょう。



### 組み立ては必ず2人でいきましょう

重いものや大型のもの、組み立ての過程で不安定になるものなどは、1人で組み立てを行うと危険です。商品の破損や周辺の家具に傷が付いたりする可能性もあるので、必ず2人で協力しながら行ってください。





## 注意点

組み立て前に必ずご一読ください。

※脚を軸にして起こしますと、事故や破損の原因となる可能性がありますので、商品本体を持ち上げて起こすようにしてください。

※商品を起こす際は、重量がありますので十分に注意して起こしてください。

※過度の締めすぎは脚、フレーム、ナット等の破損、金具の変形の恐れがありますのでご注意ください。

※付属のフェルトは消耗品です。

※無理に引きずると、脚部の折れや不良につながる恐れがございます。

※メンテナンスのため、年に一回はねじ類の締め直しをおすすめします。

※乱暴な取り扱いや用途以外、傾斜面や段差のある所では使用しないでください。

### <キャビネットの引き出しについて >

※必ず中に何も入っていないことを確認してから取り外してください。

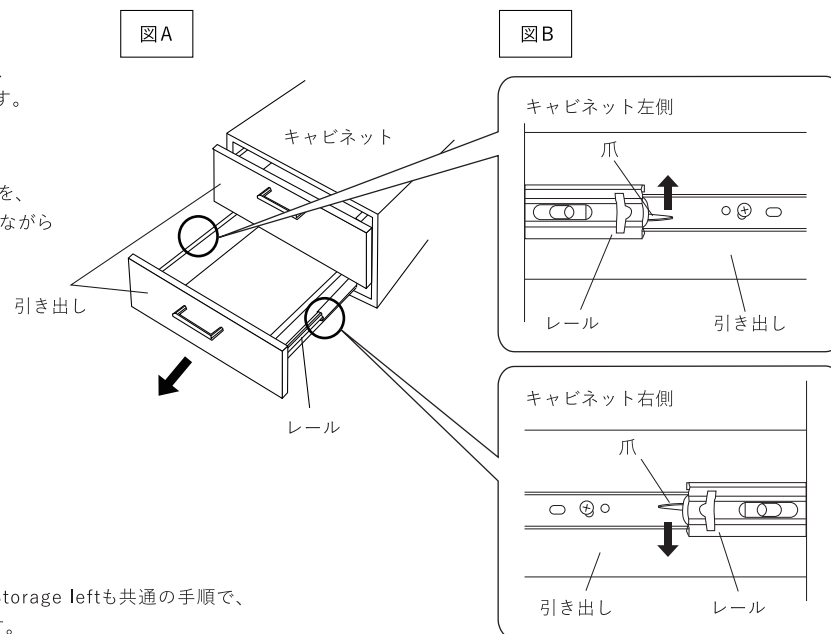
※無理に力を加えると破損する恐れがございます。

※引き出しを取り外したり、戻す際にレールの潤滑剤が、付着する可能性があります。

気になる方は手袋などをご使用ください。

#### 【取り外し方】

- 1、引き出しが止まるまで、キャビネットから引き出します。(図A)
- 2、フルスライドレールにある爪を、左側は上に、右側は下に押しながら引き出すと外せます。(図B)



※図はStorage rightですが、Storage leftも共通の手順で、取り外し、戻すことができます。

#### 【戻し方】

- 1、引き出しを戻す前に、キャビネット側のレールを奥まで押し戻します。(図C)
- 2、キャビネット側のレールに、引き出し側のレールの位置を合わせ、引き出しを一番奥まで押し込めば、完成です。(図D)(図E)

